



Interface to the Future
- Solution by Smart Connectivity -

ザインエレクトロニクス株式会社 2026年12月期 第一四半期決算説明資料

2026.05.08

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

TODAY'S AGENDA

- 会社概要
- 2026年12月期1QTR業績概要

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

会社概要

Interface to the Future “高速情報伝送の世界標準技術等、独自の価値を世界市場に提供”
- Solution by Smart Connectivity -

- 社名 ザインエレクトロニクス株式会社
(英名：THine Electronics, Inc.)
- 代表者 代表取締役会長 飯塚 哲哉
代表取締役社長 南 洋一郎
- 創業理念 「人資豊燃」
- 資本金 11億7,526万円
- 創業 1991年5月 (株)ザイン・マイクロシステム研究所
- 株式公開 2001年8月 東京証券取引所 (スタンダード)
- 事業内容 ミックスドシグナルLSIの設計開発・製造・販売
AI・IoTソリューション開発・提供、AI等データサーバー製品の
企画・開発・製造・販売
- 従業員数 133名 (2026年3月末日現在、連結ベース)
※ 『健康経営優良法人2026』 認定



事業拠点



韓国 - Korea -

ザインエレクトロニクスコリア
(THine Electronics Korea, Inc.)
韓国ソウル市 2010年3月設立

米国 - United States -

THine Solutions, Inc.
アメリカ合衆国 カリフォルニア州
2018年2月設立

中国 - China -

賽恩電子香港股份有限公司
(THine Electronics Hong Kong, Co., Ltd.)
2012年11月設立
前海賽恩電子(深圳)有限公司
(THine Electronics Shenzhen, Co., Ltd.)
2013年5月設立
同社上海分公司
2013年10月設立
深圳泰晨訊科技有限公司
(Shenzhen DynaCathay Communication
Technology Co., Ltd.)
2018年12月連結子会社化



LSI 東京本社 - Tokyo -

東京都千代田区
1991年5月 創業

THine MobileTek

ザイン・モバイルテック(株)
- Yokohama -

AIOT

THine MobileTek, Inc.
神奈川県横浜市
2018年12月連結子会社化

台湾 - Taiwan -

哉英電子股份有限公司
(THine Electronics Taiwan, Inc.)
台湾台北市 2000年9月設立

Server

ザイン・ハイパーデータ(株) **THine**
- Yokohama - **HyperData**

THine HyperData, Inc.
神奈川県横浜市
2024年6月設立

事業領域

製品・ソリューション

適用アプリケーション例

LSI 事業

<高速インターフェースLSI>

V-by-One[®] HS plus

V-by-One[®] HS

LVDS

Serial Transceiver IOHA:B

光半導体 (VCSELドライバ、TIA等)

<カメラソリューション>

Image Signal Processor

Camera Development Kit



- ・ 事務機器（複合機（MFP）等）、アミューズメント機器
- ・ カメラ（車載カメラ、セキュリティカメラ、AR/VR、認証用カメラ、手術用カメラなど高精細カメラ）
- ・ 8K / 4Kなど高解像度映像機器、ゲーミング機器
- ・ ドライブレコーダ、EVなどの車載表示装置
- ・ モバイル・PC、シングルボードコンピュータ
- ・ 半導体・液晶ディスプレイ等検査装置
- ・ AI光コンピューティング（データセンター内の光ネットワーク）

AIOT 事業

<通信モジュール>

5G/LTE/NB-IoT

<AI・IoTソリューション>

IoTゲートウェイ/ルータ

AI/IoTソリューション開発



<AIサーバー>

NVIDIA GPU搭載AIサーバー

<データサーバー>

General Server

Smart NIC/Switch



<AI・IoTソリューション事業>

- ・ 通信機能付きドライブレコーダー
- ・ AED（自動体外除細動器）遠隔監視
- ・ IPトランシーバー
- ・ 自動販売機、エレベーター遠隔監視装置、決済端末
- ・ 見守りGPSトラッカー、地域見守りネットワークシステム
- ・ スマートメーター、IoTスマートモジュール
- ・ AI顔認証型体温検知システム、IoT温度監視システム

<サーバー事業>

- ・ ODM/OEMにより日本企業・AI等研究機関にAIサーバー・データサーバーを提供

事業領域

THine グループのビジネス領域

THine商品のユースケース(活用例)

THine商品は世の中の様々な商品・サービスの革新に貢献しています。



キャッシュレス決済

クレジットカード等による、キャッシュレス決済を実現

THine POS端末
POS端末の情報伝送

安全運転支援

通信型ドライブレコーダ

ドライバーの疲労等の異常を検知し、安全運転を実現(ドライバーサポートシステム)

THine 車載機器
車載カメラなどの高度な画像処理・伝送

見守り・ヘルスケアサービス

GPS見守り端末 医療機器

児童や高齢者の見守りや高品質な患者のケアを実現

THine 医療機器
内視鏡など、医療用カメラの高度な画像処理・伝送

広告・販売戦略の変革

通信型電子ペーパーサイネージ

リアルタイムでのコンテンツ配信など、訴求効果の高い広告・販促活動を実現

THine デジタルサイネージ
サイネージの高解像度画像伝送

自動販売機管理

自動販売機の在庫管理・監視・売上金額集計

THine 自動販売機画面
自動販売機画面の情報伝送

車両運行管理

バス、トラック等の業務用車両の位置情報・運行・動態管理

THine 車載ディスプレイ
車載ディスプレイの表示制御

Hyper Automationの加速

5Gの環境下、社会インフラや工場内の膨大なデータ(センサーからの情報、画像情報等)を収集し、現場(エッジ)に近い場所で一次処理(エッジAIソリューション)の後、さらに生産性向上や自律化、省人化を実現

THine エッジAIソリューション

THine 電流センサー THine 振動センサー THine 温度センサー

THine イメージセンサー

故障予兆検知 稼働状況を見える化 省人化の実現 自律化の推進

ローカル5Gエリア

ローカル5Gとは、国からの無線局免許取得により、企業や自治体が自らの敷地内で自営の5Gネットワークを構築・運用・利用することです。

THine Electronics, Inc.

'26年12月期1QTR業績のポイント①

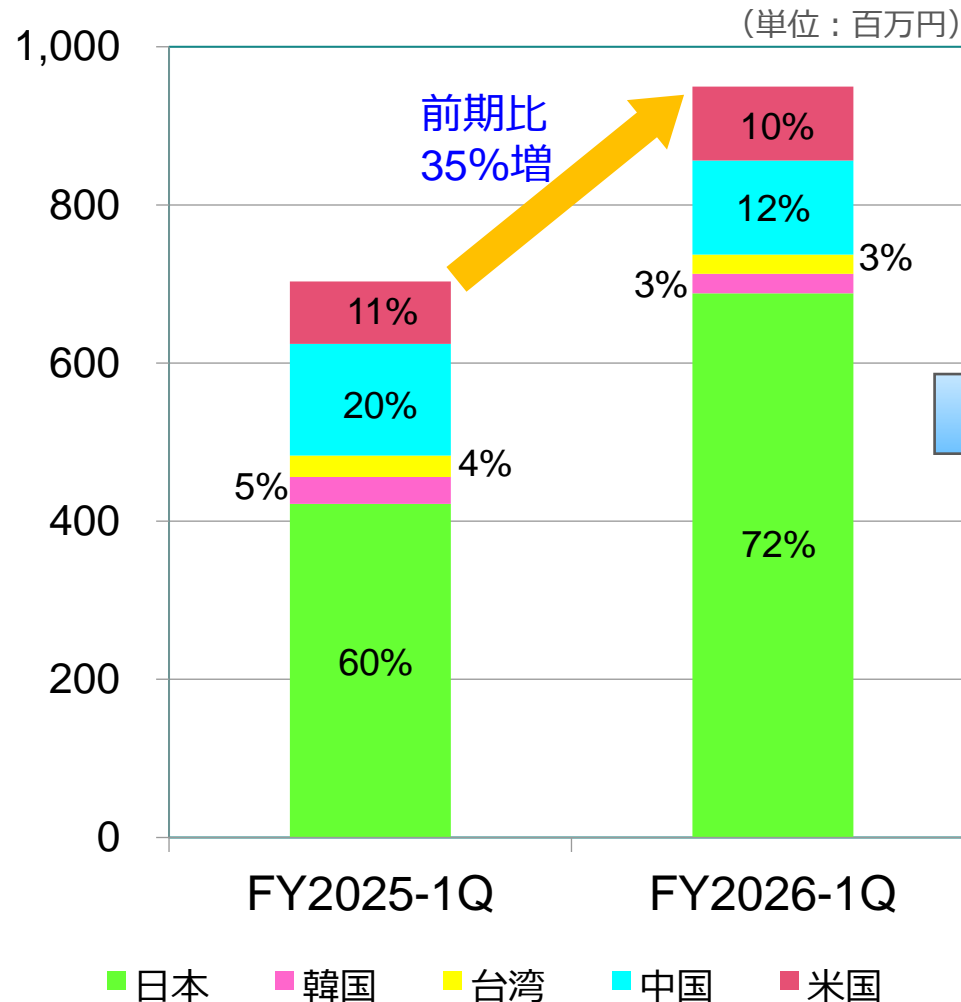
▶ 連結業績概要 (2026年1QTR)

(百万円)

	2026年1QTR			2025年1QTR	
		構成比	前期比		構成比
売上高	949	100.0	135.0	703	100.0
売上総利益	329	34.7	79.5	414	58.9
販売管理費	740	78.0	119.4	619	88.2
(うち研究開発費)	421	44.4	142.3	296	42.1
営業利益	△410	△43.3	—	△205	△29.3
(EBITDA)	△396	△41.7	—	△188	△26.7
経常利益	△361	△38.1	—	△343	△48.9
参) 経常利益 (為替差損益を除く)	△412	△43.4	—	△206	△29.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△379	△40.0	—	△261	△37.1

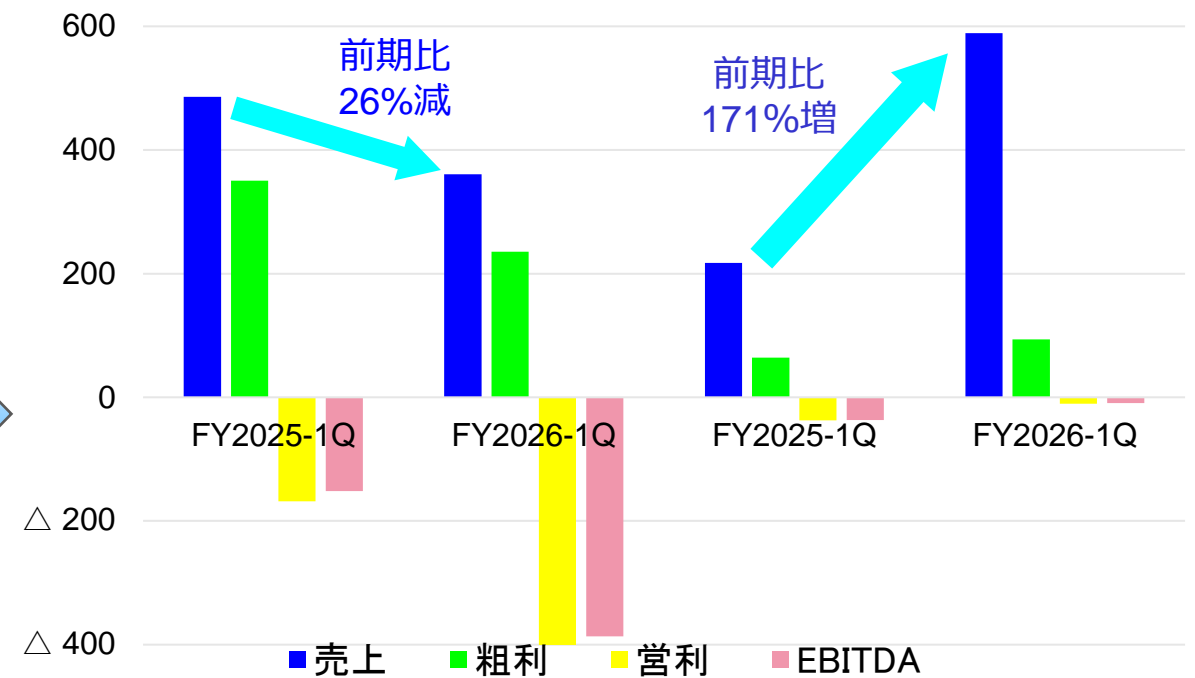
'26年12月期1QTR業績のポイント②

▶ 2026年12月期1QTR売上分析 (地域別・セグメント別)



LSI事業

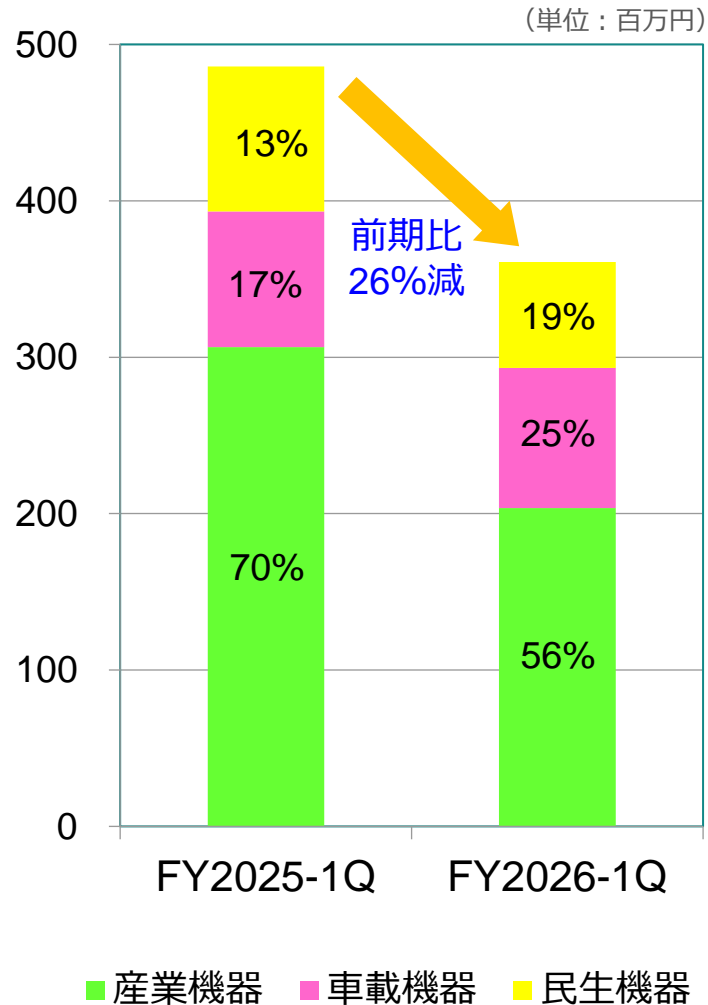
AIOT事業



- ▶ LSIは国内市場はアミューズ向けの回復傾向もOA向け低調、海外市場は米国向け引き続き堅調も、売上は前期比減少(△26%)。R&D費用は光半導体新製品等の開発を加速し積極投資(前期比+42%)。
- ▶ AIOTは前期3Qより本格量産出荷を開始したスマートメーター向け製品を中心に通信モジュール売上貢献し大幅増加(+171%)。

'26年12月期1QTR業績のポイント③

▶ LSI事業売上分析（アプリケーション・市場別）

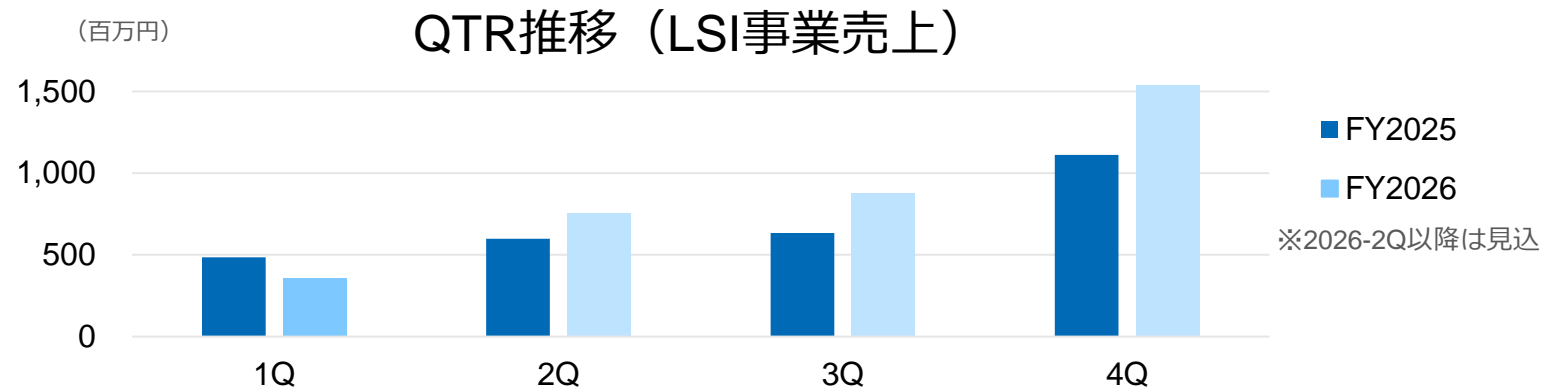


要因分析

産機 売上全体の56%。前期需要回復したOA機器向けは当QTRは出荷減、アミューズメント機器向けは在庫調整等の影響が回復傾向、産機全体では前期比減少(△34%)。OA機器向け(△60%)・アミューズメント機器向け(+36%)・その他向け(△14%)。

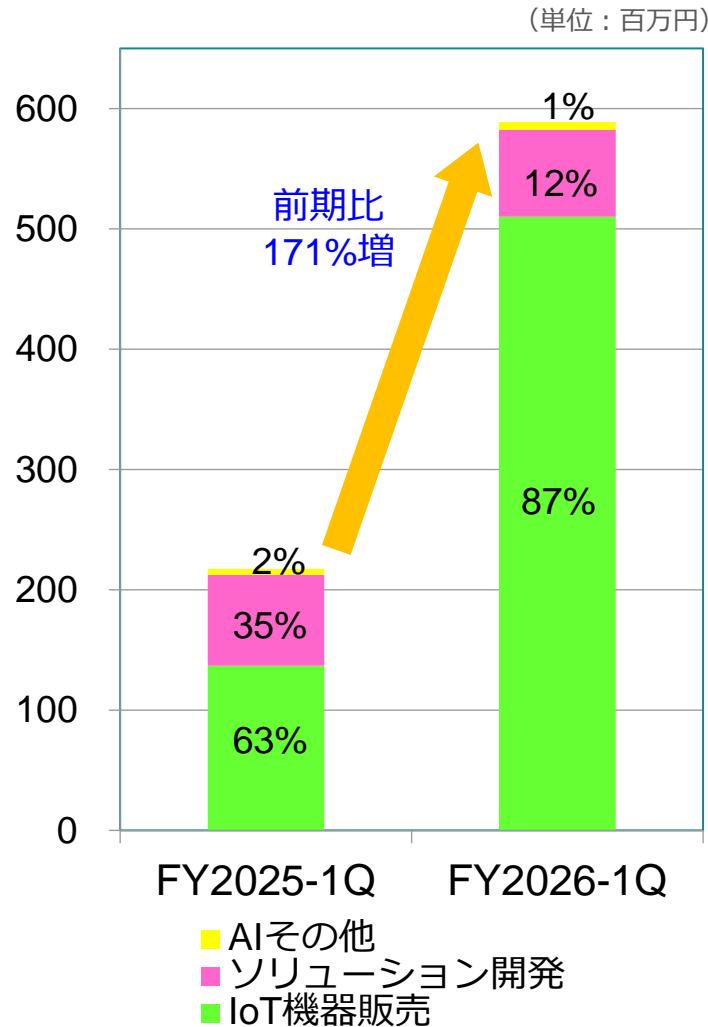
車載 売上全体の25%。前期比で若干増加(+3%)。米国市場向けは引き続き好調(+28%)、中国市場向けは減少(△24%)。EV向け新製品拡販を継続。

民生 売上全体の19%。前期比減(△27%)。4K/8Kテレビ等ディスプレイ向け情報伝送技術の当社新標準V-by-One®HS plusの提供は順調に進行。

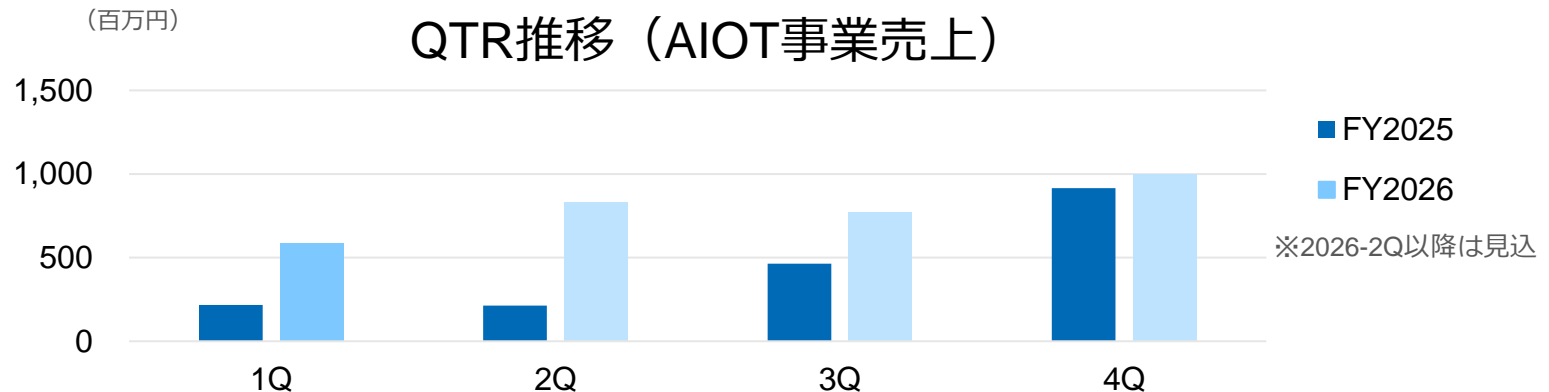


'26年12月期1QTR業績のポイント④

▶ AIOT事業売上分析（売上区分別）



要因分析	
IoT機器	売上全体の87%を占める。前期3QTRより本格量産出荷を開始したスマートメーター向け製品の出荷は順調。AED・エレベータ遠隔監視向け等の製品出荷も堅調で前期比大幅増加 (+273%)。
ソリューション開発	OEMルーター開発、監視カメラ組込用OEMルーター開発等のリピートオーダー等、前期比概ね同水準(△4%)。
その他	サーバー事業子会社については当社独自での事業展開に方針変更し拡販活動継続中。早期売上獲得に向けて努力。



'26年12月期1QTR業績のポイント⑤

▶ 営業損益変動内訳

- ▶ 前期比大幅増収(+35%)も、事業ミックス割合の変化により粗利は減益(△20%)。 ※粗利率 59%→35%
- ▶ 新製品開発に向けたR&D積極投資を実施、前期比で大幅増加(同+42%)。
AIデータセンター向け世界初DSPレス光半導体製品開発、EVパネルおよびカメラ向けV-by-One[®]HS
新製品開発、新規電源製品開発、通話機能付きGW新製品開発、スマートIoTルーター等にトータルで
¥421Mを効率的に投資。

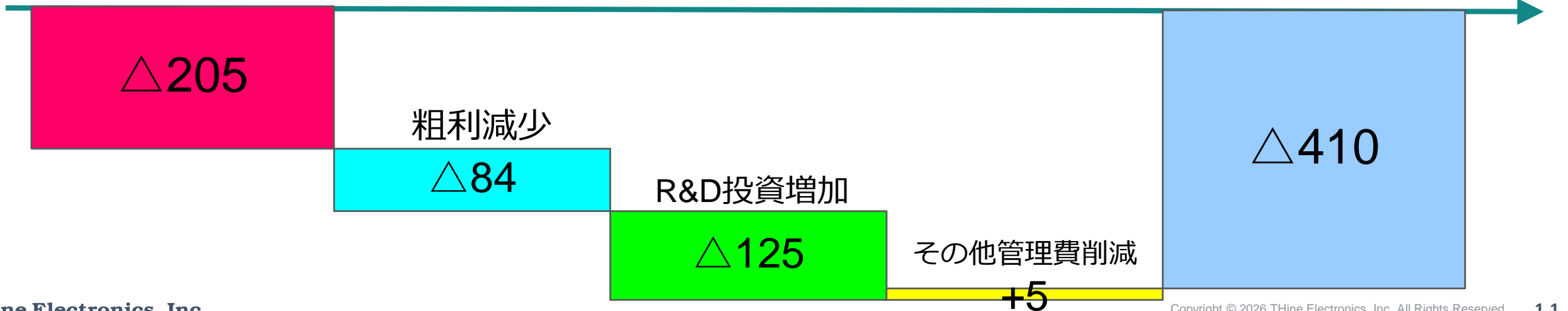
※ 総務省より受託した5Gを遥かに超える高速無線通信技術開発は当期も継続(費用は一部総務省負担)。

※ 光半導体開発はNICTの助成プログラムとして採択(3年間、令和7年度~8年度は6億22百万円の交付額)。

FY2025-1QTR 営業損益

FY2026-1QTR 営業損益

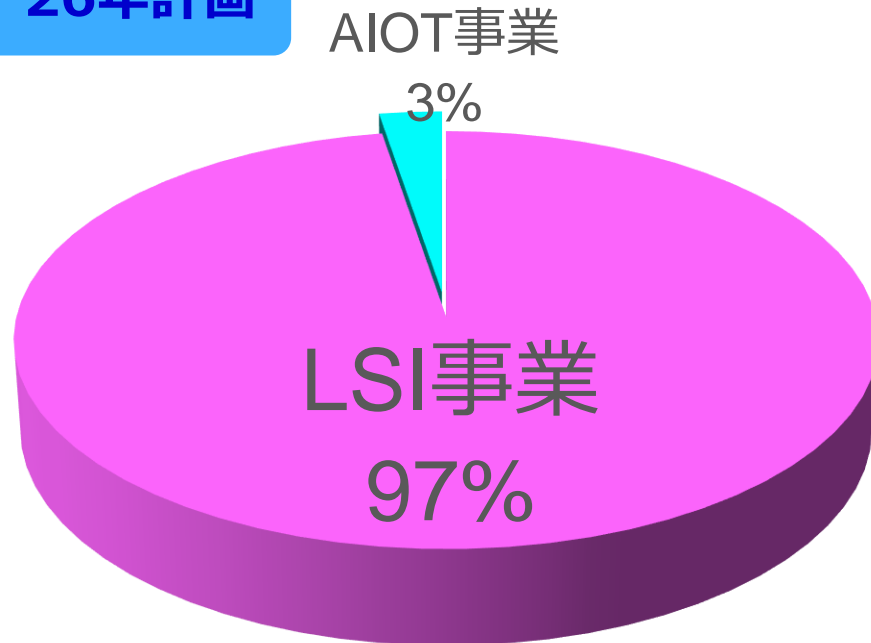
(単位:百万円)



'26年12月期1QTR業績のポイント⑥

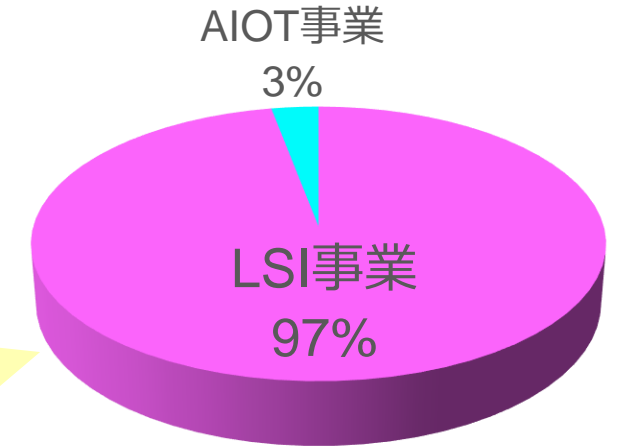
- ▶ 研究開発の状況
- 中期経営戦略『Innovate100』の実現に向けて総額**16億65百万円**（前期比+26%）の投資を計画

'26年計画



FY2026-1Q実績

- **4億21百万円**の投資実施
- 計画進捗率 25%
- 前期比 142%



『Innovate100』重要技術開発

- AIデータセンター向け世界初DSPLレス光半導体製品開発
- EVパネル・カメラ向け等V-by-One[®]HS製品
- 新規電源製品開発
- エッジAI処理用モジュール開発
- 音声通話機能付きゲートウェイ製品開発
- スマートIoTルーター開発
- スマートモジュール活用ソリューション開発
- 1000Gbpsを見据えた（beyond 5G）無線通信技術開発、等

'26年12月期1QTR業績のポイント⑦

▶ 資産・負債及び純資産の概要（2026年3月末日）

（百万円）

	資 産			負債純資産	
	'26-1QTR末	'25末		'26-1QTR末	'25末
現預金	6,952	6,454	買掛金	538	302
売掛金	532	1,482	その他流動負債	351	301
棚卸資産	1,127	934	固定負債	167	143
その他流動資産	273	250	株主資本	8,143	8,682
有形固定資産	131	135	その他包括利益累計額	123	53
無形固定資産	46	50	新株予約権	95	87
投資その他	450	357	非支配株主持分	93	93
資産合計	9,513	9,665	負債純資産合計	9,513	9,665

▶ '26年1Q末保有の米ドル建現預金残高：約US\$12M

'26年12月期1QTR業績のポイント⑧

▶ キャッシュフローの概要 (2026年1QTR) (百万円)

	FY2026-1Q	FY2025-1Q
営業CF	634	328
投資CF	△6	113
財務CF	△160	△166
換算差額	31	△122
期首残高	6,454	7,306
期末残高	6,952	7,459

▶ 税金等調整前純損失、売上債権減少、棚卸資産増加、等

▶ 固定資産取得、等

▶ 前期配当金支払い、等

▶ ¥156→¥159 (2026-1Q末)

Interface to the Future

- Solution by Smart Connectivity -

URL <https://www.thine.co.jp/>

【お問合せ先】

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町9-1

総務部IR担当（TEL: 03-5217-6660）

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断に基づき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。また、本資料に記載されている各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。